

① 本年 5 月 17 日の高見馬場交差点における市電インシデント（異線進入）

■概 要

- ・発生日時：5 月 1 7 日（金） 7 時 4 分
- ・発生場所：高見馬場交差点（1 系統上り）
- ・発生状況：（「見取り図」参照）
谷山発鹿児島駅前行き第 9 5 0 1 号が、高見馬場交差点において、前輪と後輪がそれぞれ異なる線路に入り交差点内で立ち往生した。
- ・発生原因：
ア 電停内の停止位置をオーバーして停車したため、高見馬場交差点の右折信号が自動的に作動した。
イ その信号で右折できなかったため、乗降取扱終了後、停留場内にある手動操作用の取消ボタンで信号を取り消し、次の信号サイクルで出発するために右折用のボタンを押すところを、誤って左折用のボタンを押した。
ウ 誤操作に気づかないまま信号待ち停止線まで前進し、一時停止後、間もなく右折の進行信号に変わると考え、点灯を確認せず発車した。
- ・負傷者等：乗客 3 0 名及び乗務員にケガはなかった。
- ・影響本数：8 2 両 約 2, 6 0 0 人の利用者に影響
- ・全線復旧：同日の 1 2 時 1 3 分（再開まで 5 時間 9 分）
- ・軌道事故等調査委員会の開催：5 月 2 1 日（火） 1 5 時～1 7 時

■再発防止対策等

<緊急実施済対策>

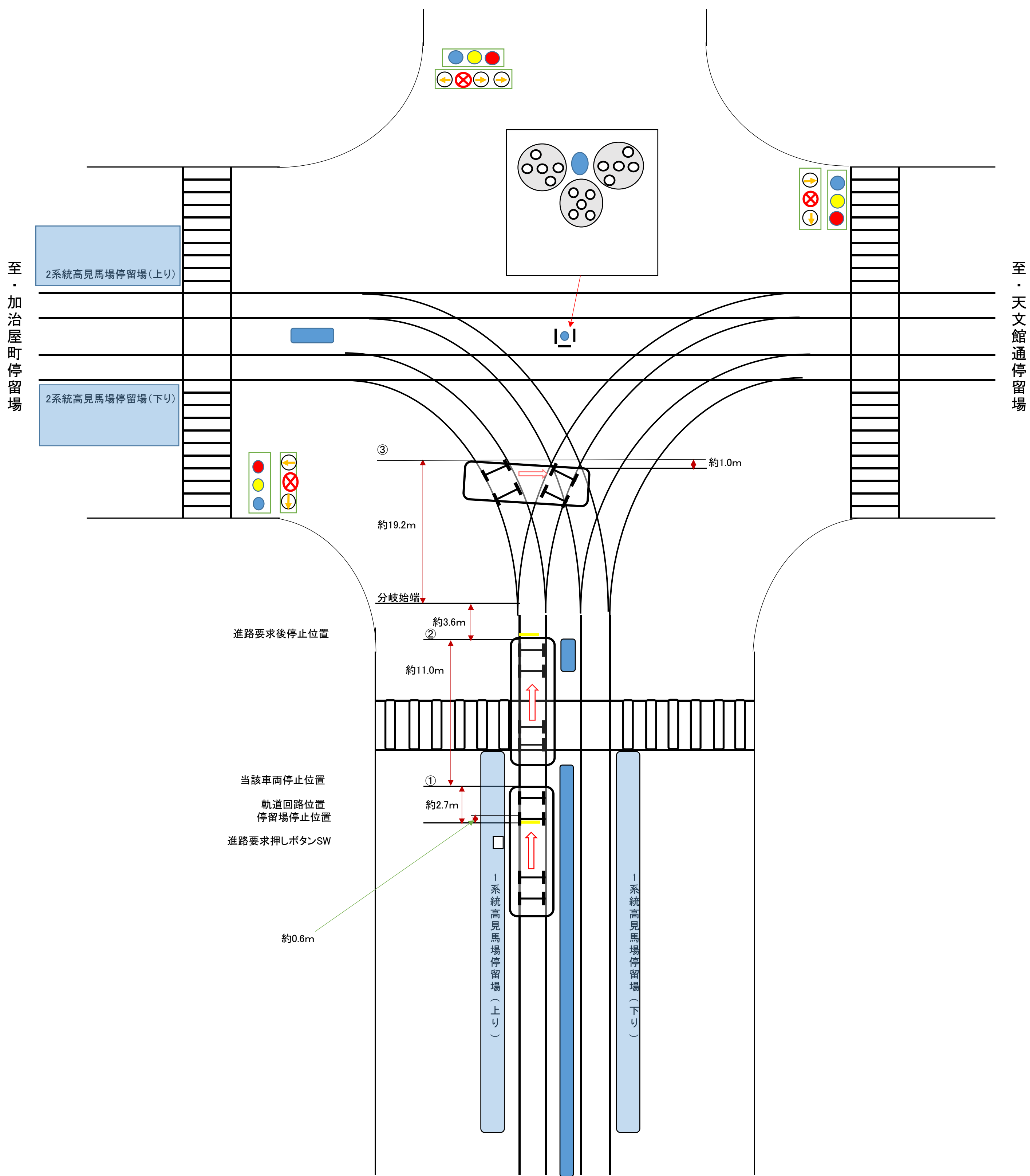
- ① 発生日日から、点呼時に運転司令から乗務員への注意喚起
- ② 安全統括管理者及び電車事業課長連名の注意喚起文書の全員への配付・掲出（5 月 1 8 日）
- ③ 信号操作ボタン（左折用ボタン）にカバーの装着並びに矢印シールの貼付（5 月 1 8 日）

<短期的対策>

- ① 全乗務員を対象に、今回のインシデント時のドライブレコーダー映像により、発生経緯や本部への報告、乗客案内などの状況を共有し合い、今後の事故防止やインシデント発生時の対応の望ましい在り方についてディスカッションを行う研修を実施（6 月 5 日～7 日）
さらに、乗務経験年数 5 年未満の乗務員に対するマスタードライバー乗務車両への添乗などによる研修の実施
- ② 高見馬場電停内の停止線の塗り直し及びサイズの変更（5 月 2 9 日）
- ③ 年 2 回の脱線復旧訓練において今回のインシデントの復旧対策を検証し今後活かす。（5 月 3 0 日机上研修）

見 取 図

高見馬場交差点異線進入



再発防止対策 対応状況

○進路要求ボタン （５月１８日（土）午後 対応済）

・対応前

（インシデント発生時）



・対応後

（左折進路要求ボタンにカバー装着
及び矢印シール貼付後）



○停止位置指示標示 （５月２９日（水）午後 対応済）

・対策前

寸法：縦 13 cm、横 60 cm



・対策後

寸法：縦 31 cm、横 60 cm、高さ 3 cm

